

かけはし

5

May

2015 vol.170

かけはしマネジメント対談

株式会社イマック



企業・強みの研究

株式会社ティアンドティ・コーポレーション

企業・強みの研究

株式会社マイファーム

地域が変わる—地域活性化の現場

甲 賀【滋賀県立陶芸の森】

02	ビジネストーク 「大将の戒め」	16	アナリストレポート 県内景気天気図 弱含みの足踏み状態
03	かけはしマネジメント対談 株式会社イマック 代表取締役 田中 守氏	18	ズームアップ 県内経済情報 2015年度の設備投資は大幅下落の見込み (滋賀県内企業動向調査 特別項目)
07	企業・強みの研究 株式会社 ティアンドティ・コーポレーション	20	主要経済指標
09	企業・強みの研究 株式会社マイファーム	21	イチ押し! pick up 齋木産業株式会社 「琵琶パール」
11	地域が変わる—地域活性化の現場 甲 賀 滋賀県立陶芸の森	21	しがぎんとピックス 「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」で優秀賞 ～金融機関では唯一、2度目の受賞～
14	アジア&ワールド 香港における不動産事情	22	着眼大局 もう一つの「2045年問題」 常務取締役 林 一義
		22	県内データあれこれ 常用労働者数 —毎月勤労統計調査(2014年平均)結果より



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。



当行は、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。

本誌「かけはし」は、<http://www.keibun.co.jp/>でもご覧いただけます。
※「かけはし」の名称は、(株)しがぎん経済文化センターが商標登録しています。
本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写(コピー)・複製(転載)を禁じます。

ビジネストーク

「大将の戒め」

頭取 大道 良夫



弊行前会長・頭取の高田紘一氏が、去る3月2日亡くなりました。ここに、生前の故人へのご厚誼、ご厚情の数々に對しまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

まだまだ静かに思い出に浸れる心境にはございませんが、高田さんのお言葉などあれこれ思い出します。平成6年に日本銀行から当行へおいでいただき、初めてお会いした時から、私自身にとりましては、まさにカルチャーショックの連続でした。

開口一番、「滋賀銀行はみんなネクタイが暗い。葬式みたいだ」との言葉に、驚きをもって一斉に明るいネクタイに取り替えたことを思い出します。

以後、読書家の高田さんならではの含蓄ある言葉に託された、経営上の、また人として生きるうえでの多くのお教えをいただきました。

「勘・断・心」。高田さん自作の処世訓です。「勘」は先を読む先見性、「断」は速やかな決断、「心」はきめ細やかな気配りと目配りで「気合」を結集すること、とご説明いただきました。

「相互同感」。アダム・スミスが著書「道徳感情論」で述べている言葉ですが、これを受けて高田さんは「知情合一」の精神で、当行が正しいと考える理念や方針を率直に開示して、お

客さまとの「相互同感」により共存共栄を図ることと私たちに呼びかけられたのでした。

まさに、意識改革の連続でありましたが、中でも「大将の戒め」は、今も心に深く残っています。「大将は、敬われているようで絶えず落ち度を探られ、恐れられているようで侮られ、親しまれているようで疎んじられ、好かれていられるようで憎まれているものじゃ」「家来はな、惚れさせねばならぬものよ」。徳川家康の言葉です。高田さんは、新任支店長への訓示でたびたびこの言葉を引用、マネジメントの要諦をわかりやすく説かれたのでした。「寛厳をわきまえた人間的魅力豊かな上司としての器量を磨け」との高田さんの教えが、亡くなられた今、改めて強く胸に響きます。

私どもは「大将の戒め」などの数々の言葉に込められた高田さんの熱い思いを改めて想起いたすとともに、高田さんが常に標榜された「健全と進取」の気概を発揮して、地域・お取引先との「共存共栄」をさらに深めていくことこそが、残された私たちの使命と考えます。高田さんから「なかなか、やるじゃないか」と言っていただけよう努力する所存です。

何卒、今後とも、皆さま方のお一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社イマック

代表取締役

田中 守氏

▶ interviewer

頭取 大道 良夫

木浜支店長 駒井 靖也

ニッチ市場でキラリと輝く 高い壁に挑み続けるベンチャー魂。

他社が手掛けない難易度の高い製品や手間のかかる製品にあえて挑み、「製造ラインの検査用LED照明」というニッチ分野で独自のポジションを築いた株式会社イマック。みなぎるベンチャー魂でヘルスケア、先端医療分野へ進出する。



株式会社イマック 代表取締役
田中 守 (たなか まもる) 氏

1943年、滋賀県に生まれる。66年、大阪府立大学工学部電子工学科卒業、新明和工業航空機製作所に入社。水陸両用救難飛行艇US1の開発に携わる。86年、新明和工業を退職し独立。93年、株式会社イマックを創業して代表取締役に就任。

自動化ラインの検査用LED照明 独自技術で2万種類以上を開発

大道 ● 1993年のご創業以来、イマックさんは優れた開発力をベースに、自社オリジナル製品の創造を続ける研究開発型企業の道を歩んでこられました

田中 ■ 自社で独自の製品を開発することとは、自分たちが生み出した製品が社会に役立つ達成感を味わえますし、困難にチャレンジし、ハイクオリティな製品を世に出すということは本当に面白い。私たち開発エンジニアには、挑戦を楽しむ情熱が不可欠だと思っています。

大道 ● だからこそ、「他社が避ける手間のかかる製品」や「開発が難しい製品」「小ロットな製品」をあえて手掛け、御社独自の製品を次々と生み出しておられるのですね。

田中 ■ 価格競争に巻き込まれがちな汎用品や量産品を避け、技術力で勝負する受注品に絞ってきました。LED照明、FA（ファクトリーオートメーション）工場自動化）、ヘルスケアが現在の当社の3本柱ですが、売り上げの75%を占めるLED照明はこれまでに2万種類以上の製品を開発してきました。その多くが数個、数十個という小ロットで、年に数回、あるいは1回の注文というものも



マルチリング照明のLED素子実装ラインで

珍しくありません。

大道 ● 2万種類以上ですか。検査用LED照明とお聞きしていますが、どのような用途で使われているのですか？

田中 ■ 主に自動化された生産ラインで製造される製品の品質検査用に使われています。生産された製品にキズやへこみ、汚れがないか、不良品をカメラでチェックする際に使われる照明です。蛍光灯に比べて光が拡散しないので欠陥を見つけやすく、対象製品に合わせて光の波長を選べるなどメリットのある

LED照明は、あつという間に製造現場に広がりました。

回路・ソフトウェア設計から 組立実装まで一貫してこなす

大道 ● ドーナツ状の筐体（きょうたい）にLED素子が並ぶ「リング照明」がよく使われるようですが、なぜ、この形がいいのでしょうか？

田中 ■ 製品とカメラの間にリング照明を設置することで、視野を遮（さか）ることなく撮影でき、条件に応じてアングルを変えられる

こともできます。このリングタイプの需要が一番多いですね。それでも「万能な照明」はなく、製造現場から寄せられる条件に応えるためにさまざまな照明を開発してきました。高速で流れる製品をぶれずに撮影するため、超高速のシャッタースピードに同調できるストロボ照明を開発するなど、数多くの「技術の壁」に挑み、乗り越えてきたのです。

駒井 ● 照明の設計から組立まで、開発・製作工程の8割以上を自社でこなしておられます。検査用LED照明について、ここまで一貫して作るメーカーは少ないようですね。

田中 ■ 一貫生産体制はまさに当社の強みです。納入先のメーカーが製造ラインで検査照明のことを考えるのはおおむね最後ですから、常にシビアな短納期が求められます。すぐに組み立てて出荷できる体制なしでは、この分野は成り立ちません。開発コストを抑える意図もありません。電気回路やソフトウェアの設計も当社のエンジニアがこなしますし、プリント基板へのLED素子実装もすべて社内で行います。なにしろ多品種・小ロット生産ですから、実装は手作業です。

大道 ● 実装や組立の風景は先ほど拝見しました。あれは熟練の技ですね。それ

経営理念

私達は会社の発展と社員の幸せを願い、
メカトロニクスの可能性を追求し、
お客様に喜んでいただける製品を提供して
社会に貢献します。

会社概要

株式会社イマック

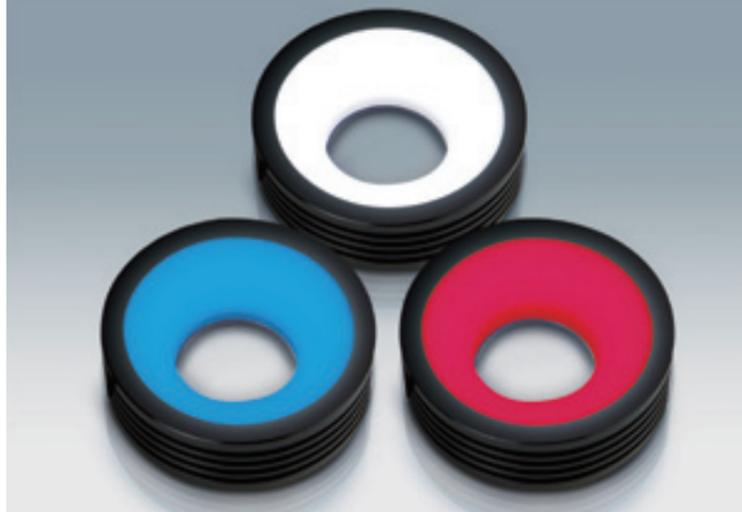
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/110名
- 事業内容/画像処理用LED照明機器、FA機器、
医療用機器等の提案・開発・製造・販売
- 本社所在地/守山市幸津川町1551
- URL/http://www.kkimac.jp

沿革

- 1993年 有限会社イマックを設立
- 1994年 株式会社イマックに変更
- 1996年 画像処理用LED照明の販売を開始
- 1998年 「高機能全自動電線加工機」および「画像処理用LED光源」で滋賀県創造法の認定を受ける
- 2001年 FA機器部門、LED照明部門でISO9001:2000認証取得
- 2005年 医療用具製造業許可取得
FA機器部門、LED照明機器部門でISO14001:2004認証取得
- 2010年 「蛍光検出器」が地域資源活用計画認定
- 2012年 第1種医療機器製造販売業許可取得
- 2013年 東京オフィス開設
- 2014年 「ステップエイド」が関西ものづくり新撰2014に選定



第2工場



防塵・防水保護のIP67規格適合のLEDマルチリング照明「IMAR-WRシリーズ」



骨折リハビリのために開発された歩行分析計「ステップエイド」

ほど小ロット品が多いとなると、一つひとつの開発にはコストをかけられないのではないですか？

田中 ■たとえ年に1回の発注であつても当社でしか作れない製品ですから、長年にわたって注文いただけるオンラインワンの製品になります。開発費については基本的に当社負担ですが、難易度の高い製品は他の取引先にも販売できるように取り組みますし、補助金の活用などさまざまな方法で調整を図ります。ともかく、「他社がやらない製品を高品質で効率よく、短納期で作る。そこに技術開発型企業の生きる道がある」と思っています。

キャリア重ねて技術を磨き部下と共に起業を決意

大道 ■田中社長のその気概が、イマックさんをニッチ市場でキラリと輝かさせる光源になっていくのです。宇宙ステーションや深海探査船でも御社の照明が活躍しているそうですが、他に注目される照明にはどのようなものがありますか？

田中 ■「インターネットにつながる照明」ですね。LANケーブル1本で電力供給と情報通信が同時にできる点がオンラインワンの技術で、最大で4台の照明

を一つのユニットでコントロールします。精密機器メーカーの検査ラインで導入

いただいています。が、複数の照明をタイミングよく切り替えることで、撮影が難しくなった判定箇所も鮮明に撮れるようになりました。今後は照明だけでなく、カメラや画像処理ソフトもお客さま側のブラウザで一元的にコントロールできるようにしたいですね。

大道 ■御社は電気や機械、光学、ソフトウェアといった幅広い技術力をお持ちですが、その源は田中社長のご経歴にあるのでしょうか？

田中 ■イマック創業前に私は三つの勤務先を経験しました。最初の航空機メーカーで多様なものづくり技術に触れ、転職するごとにエンジニアとしてのキャリアを重ねてきました。ところが最後に勤めたエンジニアリング会社はバブル崩壊とともに解散することになり…。当時の部下を路頭に迷わせたたくない一心で、守山市今浜町の工場でイマックを旗揚げしました。「今浜から世界を目指そう」との夢を社名に託したのです。そして近隣の工場の困りごとを解決するFA機器事業を始め、ワイヤーハーネス(自動車用組み電線)の煩雑な加工を自動化する「全自動電線加工機」を開発。順調に成長する中で、検査用LED事業に進



防水LED照明と調音デジタルコントローラの説明を聞く、左から駒井支店長、大道頭取、田中守社長

出しました。

駒井 ■苦しい思いをされた時期はなかったのですか？

田中 ■さまざまな苦労がありました。特に、2008年秋のリーマンショック直後には売り上げが激減し、この時が最もつらい時期でした。ただ、経営者は苦労を顔に出してはいけません。常に笑顔であろうと努めることが欠かせません。

ヘルスケアで存在感を強める

靴型の歩行分析計「ステップエイド」

大道 ■肺ガンの放射線治療に役立つ患者体位固定具「アブチェス」で、今後の成長が期待されるヘルスケア分野へ進出されました。呼吸によって腹部や胸

が動くため、診療放射線技師のピンポイント照射がうまくいかないのに着目。患者さんが息を止めるタイミングをつかみやすくする装置を開発されたのですね。

田中 ■医療分野は参入障壁が厳しく時間がかかります。2000年に進出して医療用具製造業許可を取得したのが05年。12年に念願の第1種医療機器製造販売業許可を得て、どんな高度な医療機器でも製造・販売できる体制が整いました。

大道 ■アブチェスに続く第2弾が、靴型の歩行分析計「ステップエイド」。サンダル状のシューズユニットに荷重センサーを組み込み、歩行時に適切な荷重か、超過した荷重かを、異なるブザー音で知らせてくれます。

田中 ■足を骨折された患者さんのリハ

ビリ支援のために開発しました。歩行訓練の初期では体重の3分の1を、次は2分の1を…と徐々に足にかける荷重を増やしますが、特に高齢者はその感覚をうまくつかめず、入院が長引くこともあり。ステップエイドを使えば、首で適正な荷重を知ることができるのでリハビリが効果的に行え、訓練期間の短縮にもつながります。データを無線通信で飛ばせるので、パソコンに保存するなどして理学療法士さんのリハビリ指導にもお役立ていただけます。

大道 ■この靴で当行の「平成26年度しざん野の花賞」を受賞いただいたほか、国の推薦を受け「滋賀健康創生」特区事業の金融支援対象にもなりました。

田中 ■骨折患者用に開発したステップエイドですが、脳梗塞患者のリハビリ支

援や高齢者の寝たきり防止訓練にも役立つのではと考えています。製品のバージョンアップに特区のご支援を生かしていくつもりです。

大道 ■ウォーキングなどのスポーツ愛好家にも広がる可能性を感じます。素晴らしい靴ですね。イマックさんのチャレンジ魂には終わりが無いように感じます。

さらなる挑戦こそベンチャー企業の生きる道

田中 ■私たちは常にベンチャーであり、

挑戦者です。今に満足すると、そこで終わってしまいます。開発型企業は5年先、10年先に世の中がどうなるか、先を読むことが必要で、時代の変化に敏感でなければなりません。同時に「創造力と発想力に富んだ人材」の育成が鍵を握り

ますから、人材の確保に手を尽くすとともに、常にクリエイティブな気分を満たす会社づくりに努めています。

大道 ■新商品の開発だけでなく、顧客やパートナー企業等の開拓にも挑み続けなくてはならず、平坦な道ではないと想像します。それが「ベンチャーの道」なのです。

田中 ■当社のLED照明と縁が深い検査機器の展示会へ行くと、中国や韓国のメーカーの出展がほとんどありません。技術力の高い製品はそう簡単に真似されませんし、追隨されにくい。それを信じて、今後も「ニッチな市場でキラリと光る存在」であり続けたいと思います。

大道 ■田中社長の熱い情熱に大いに胸を打たれました。本日はありがとうございました。

きらめく湖水へ水飛沫をあげてスプラッシュイン！
感動と興奮の「びわ湖ダックツアー」を運行。

長浜の新たな名物に
湖国初の水陸両用バスツアー

行業シーズン到来で賑わう長浜の黒壁スクエア。隣接する御旅所駐車場から、笑顔で手を振る満員の観光客を乗せた大型バスが走り出した。車体を彩る「びわ湖ダックツアー」のラッピング。DUKWの愛称で親しまれる水陸両用バスだ。

市街地を北上したあと、きらめくマザーレイクを右手に眺めながら湖岸道路を南下。観光スポットの長浜城や慶雲館の横を通過してわずか15分で長浜港へ。湖に向かって直進するバスは、プレジャーボート用タラップから滑るように湖面へダイブする。パシャと水飛沫があがったその瞬間、車内の乗客たちは一斉に叫ぶ。「スプラッシュイン！」。大きな歓声が上がると、拍手が湧きおこる。テーマパークのアトラクションさながらの興奮と感動を味わえる「びわ湖ダックツアー」。昨年3月に登場するや、またたく間に長浜の「新名物」になり、11月末までの9カ月で約2万4千人が搭乗。その約8割が岐阜県、愛知県など中京圏をはじめとする県外からの観光客だ。ダックツアーは、観光都市・長浜に大きな波及効果をもたらした。

このツアーを運行するのが株式会社ティアンドティ・コーポレーション。長浜の地域振興と縁が深い高橋金属株式会社のグループ企業だ。「黒壁の人気は堅調だが、観光客の周遊範囲をもっと広げられないかと考えていた。ヒントになったのは、海外で目にした水陸両用バスツアー。その非日常性は必ず人気を呼び、長浜の新たな魅力になる。長浜城や慶雲館などへ足を伸ばしてもらおう呼び水にもなるだろう。とにかく長浜の活性化をお手伝いしたかった」と川崎隆弘社長。



長浜港から琵琶湖へスプラッシュイン！大きな歓声上がる「びわ湖ダックツアー」



「びわ湖ダックツアー」の水陸両用バスが黒壁と琵琶湖をつなぎ、長浜観光の幅を広げる

運送事業で強みを発揮し
新たな事業の柱を模索

高橋金属の物流部門として1996年に設立された同社は、翌年には一般貨物運送事業に進出。近隣の取引先工場の製品等を運ぶことから始めた。岡山県に高橋金属の配送先が多かったため、同方面への荷物を混載することで安価な運送費の設定につながり、得意先をどんどん増やしていった。

ガソリン高騰で運送業界が苦境にあえいだ時期には、ドライバーの走行状況



大型10トントラック27台をそろえ、省エネ意識の高い物流事業

をつぶさにチェックできるデジタルタコメーターを導入し、走行スキルを磨く講習会を実施してドライバーの省エネ意識を高めるなど、細やかな経営努力を重ねて乗り越えた。今では保有する大型10トントラックが27台になるまでに成長。しかし、物流事業だけでは他社との違いを打ち出し、成長を続けることは難しいと考えたという。

観光バス事業を着実に伸ばし
旅行業へとステージアップ

第二の柱に育てようと、観光バス事業に進出したのが2001年。旅行会社が企画するツアーへの配車や学校のクラブ遠征のバス送迎からスタートしたが、最も気をつかったのはドライバーの教育だった。「一般運送と違って、観光バスでは乗務員の接客応対も「商品価値」。指名していただけるプロの観光ドライバー」を目指して、事業開始3カ月前から入念な教育に取り組んだ。そのおかげで、観

光バス事業は快調に走り出せた。

いまでは観光ドライバーが8人、2台の大型観光バスなど7台のバスを所有し、会社の売り上げの30%を占めるまでになった。昨年には、自社でオリジナルツアーを企画・運行できる旅行業免許も取得した。もちろん観光事業のステージアップが主な目的だが、これを機に川崎社長はずつと温めてきた夢の実現を図った。それがダックツアーだ。「以前から国内で唯一DUKWを所有する大阪の日本水陸両用車協会と交渉を進めてきた。『琵琶湖をクルージングするとは素晴らしい』と協会側も快く賛同し、当社が旅行事業者になったことで、満を持して、びわ湖ダックツアーは動き出した」。

「運送」「観光バス」に並ぶ
三つ目の柱に育てる

川崎社長が重視したのは水陸両用バスが運行されていない中京圏。新聞オリコミなどでアピールし、旅行会社をま

わつてタイアップを呼びかけた。ふたを開けると、予想を超える大盛況。「DUKWによるダックツアーは発祥地の大阪や東京、諏訪湖など全国数カ所でも実施されてきたが、滋賀では初お目見え。手軽に琵琶湖の魅力を感じることができる趣向だけに、全国の旅行業者も注目してくれた」。

一方で課題もはつきりした。平日の集客アップだ。克服の鍵はやはり旅行会社とのタイアップ。「今年は3月20日からの運航開始に先がけて、中部3県のバス会社が多くの旅行プランにダックツアーを組み込んでくれた。乗客数は確実に伸びると確信している」と今シーズンへの手応えを語る。

川崎社長の夢は、ダックツアーを観光事業に並ぶ、三つ目の柱に育てること。湖国観光の目玉として、長浜以外での水陸両用バスツアー運行も視野に入れるなど、今後の事業展開も見据えている。非日常性の楽しさは、観光客を呼び寄せる新たな起爆剤にもなりそうだ。

Profile

株式会社
ティアンドティ・コーポレーション
■本社/長浜市三ツ矢町10-1
■設立/1996年
■資本金/3,500万円
■従業員数50名
■事業内容/一般貨物運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業、流通事業システム請負業、旅行業法に基づく旅行業その他
<http://www.takahasi-k.co.jp/tandtc.html>



代表取締役
川崎 隆弘氏
Voice

今年の「びわ湖ダックツアー」で重視するのは地域貢献。毎月15日を長浜市民限定の半額ツアーにしたり、月に2回、長浜市内の介護老人保健施設や障がい者施設の利用者さんを無料招待したりするなど、地元へ恩返ししていきます。



農地と就農者を増やして農業再生の実現へ。 大きな夢に情熱注ぐソーシャルベンチャー。

株式会社マイファーム



「もったいない」耕作放棄地を 活用する新事業モデルを立案

幼い頃、家庭菜園に熱心な母親と共に野菜作りの楽しさを知った西辻一真社長。小学校では植物採集で賞をもらうほどの植物マニアだった。高校1年生の時に通学路で耕作放棄地を見かけ、「もったいない。ここを使って何かできないだろうか」と問題意識を持つようになった。このような経験が独自の哲学に貫かれた農業振興ビジネスを興す出発点になったと振り返る。

「衰退傾向が続くこの国の農業をなんとかしたい。そう志して農学部に進学したが、生産能力を向上させることに主眼をおいた農学教育に違和感を持った。耕作放棄地は全国で約40万ヘクタール(2010年当時 農林水産省集計)に達し、農業従事者も減少が続いている。この状況を変えて、農家数と農地面積を回

復しないと農業再生の解決に結びつかない。そう気づいた時に、夢のある事業モデルが頭に浮かんだ。

それが株式会社マイファーム(京都市)の現在のビジネスの基礎を成す、「三つのステップで農地面積と農業従事者を回復していく」という事業モデル。目指しているのは自分で作って自分で食べる「自産自消できる社会」の創造だ。

体験農場で農業への関心誘う 農業教育で自立できる農家を育成

ステップ1は、耕作放棄地を地権者から借りて、農業体験を望む人へ貸し出す「マイファーム農園」事業。なるべく大勢の人に野菜を育てる喜びを味わってもらい、農業に関心を持つてもらおうのが狙いだ。当然、耕作放棄地の再生にもつながる。ステップ2では、農業体験を通じて就農を志すようになった人に基礎的な技術

や知識、マーケティング等のビジネスマインドを学んでもらうため、週末農業ビジネススクールを開校。教育を通して「農家として自立できる能力とバイタリティ」を伝授する。そしてステップ3が、就農した卒業生が育てた農産品の流通サポートも含むレストランや直売所の運営だ。

2007年に24歳の若さでマイファームを設立して以来、西辻社長は自らが描いたこの事業モデルの具現化に情熱を注ぎ、夢を信じる力を糧にしなが、段階的にすべてのステップを実現させてきた。現在、マイファーム農園は全国に103園(フランチヤイズを含む)あり、利用者

数は約3500組。都市生活者が利用しやすい三大都市圏とその近郊を中心に展開している。栽培指導と平日の管理をしてくれるインストラクターが常駐し、農具や肥料も全て用意されるなど、誰でも手ぶらで農業体験できる行き届いたサービスが評判を呼んで、農園数・利用者数共に順調に伸び続けてきた。

農園事業を軌道に乗せる環境を整えた。「法改正は同時に類似の農園事業への参入者を増やすことにもなったが、このようなサービスが広まればより多くの耕作放棄地再生につながる」と歓迎する。

もちろん起業当初から順調に進んだわけではない。「まず耕作放棄地がなかなか借りられない。20代の若者が農業の再生を語っても地権者さんは心を開いてくれない、事業モデル自体も理解してもらえなかった。それ以上に苦労したのは、所有者以外の耕作を禁じる農地法の壁。終戦直後の成立時には意義があったこの法律も今や時代に合っていない、耕作放棄地が増える一因になっていた」。

「アグリイノベーション大学校」と名づけた週末農業ビジネススクールを10年に開校。講師には選りすぐりの先進農家をそろえ、実践的な農業技術を学んだ卒業生はすでに500人にのぼっている。地元でUターンするなど各地で就農している人も多く、中には海外で就農したり、同世代と比べて高収入を得ている人もいるという。

西辻社長はこの問題を抜本的に解決しなければ日本の農業の再生は難しいと考え、思い切つて自らが農林水産省の政策審議委員になり提言することで、法改正にまでこぎつけた。

ステップ3の流通サポートでは、西辻社長の郷里・福井県坂井市三国町で、店舗の横にある畑から食べたい食材を客が自ら収穫、それを調理して提供するという体験型農園レストラン「Nora」を営



直営農場で作った野菜などを販売する「マイファーマー京都店」

子供から大人まで幅広い世代で楽しむことができる「マイファーム農園」



休日には行列もできるという農園レストラン「Nora」

農業技術はもちろん、就農に必要な知識を身につける「アグリイノベーション大学校」

若い就農者を育てる アグリイノベーション大学校

むほか、京都・名古屋・東京に直営農場で作った野菜等を扱う直販店「マイファーマー」を展開。新規就農者などの販路開拓をサポートするため、飲食店等への宅配にも取り組む。

農家数と農地面積の回復という夢に向かって、着実に一歩ずつ進む西辻社長。だが、課題はまだ多いと自己採点は甘くない。

「今後は地方や過疎地の耕作放棄地の再生もお手伝いしたいし、海外に目を向ければ、砂漠化や塩害等により耕作できない土地はたくさんある。東日本大震災で塩害を被った宮城県の農地を独自の土壌改良法で回復させた経験などを生かし、世界の農地再生でも力を発揮したい」。壮大な将来構想も、すでに視野に入っている。

マイファーム農園と似た事業モデルを思いついた人は他にもいたが、制度の壁などに阻まれて誰も実践できなかったという。しかしマイファームは自力で耕作放棄地利用の幅を広げること成功し、

Profile

株式会社マイファーム

- 本社(京都オフィス)/京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA会館3階
- 設立/2007年
- 資本金/8,500万円
- 従業員数/15名
- 事業内容/マイファーム農園事業、アグリイノベーション大学校事業、直営農場事業、レストラン事業、小売店事業、流通イノベーション事業等

<http://myfarm.co.jp/>



代表取締役社長
西辻 一真氏

Voice

4月末から、滋賀県・野洲にある直営農場でアグリイノベーション大学校の特別コース「木村秋則 自然栽培塾コース」を開講しています。農業界と一緒に盛り上げてくださる皆さまのご受講をお待ちしています。
(詳細はアグリイノベーション大学校ホームページをご覧ください)



甲賀

滋賀県立陶芸の森

国際的な陶芸文化の拠点として25年 信楽焼を世界に発信、地場産業の振興に貢献

やきものの里、信楽を一望する丘陵に広がる「滋賀県立陶芸の森」。陶芸に関する展示・創作・研修・交流など多様な機能で、多くの人にその魅力を伝え、陶器産業の振興、新たな陶芸文化の創造に貢献してきた。25周年を迎えた今年、あらためて地域との連携を深め、信楽の魅力発信に取り組んでいる。

自然と芸術に触れる憩いの場 世界の才能が集まる創作施設

日本六古窯の一つに数えられる信楽焼の産地、甲賀市信楽町。「滋賀県立陶芸の森」はこの地に1990年、県と旧信楽町の出資で開設され、今年4月に開設25周年を迎えた。

丘陵地の地形と森林を生かした広さ40ヘクタールの敷地を持つ陶芸の森は、四季折々の自然に親しみながら、野外展示された陶芸作品を自由に鑑賞することができる。さらに、陶芸専門の美術館「陶芸館」、信楽焼の最新の産業作品を紹介する「甲賀市立信楽産業展示館」、滞在型の創作施設「創作研修館」の三つの施設を備え、まさに陶芸文化を創造する世

界的な拠点といえよう。

開設以来、「地場産業の振興」「世界へ向けた情報発信」「新しい文化の創造」を推進するため、公園機能の充実をはじめ、さまざまな事業を展開してきた。やきもの文化の魅力を分かりやすく紹介する展覧会開催事業や、国内外の芸術家が創作研修館に一定期間滞在し作品制作を行うアーティスト・イン・レジデンス事業のほか、子供たちがやきものに触れる楽しさや芸術を体感する教育プログラム「つちっこプログラム」などだ。

年間30万人以上の観光客が来訪 陶芸体験する子供は約1万人

陶芸館ではこれまでに70を超える展覧会を開催、延べ入館者数が2013年

全体では、現在、年間30万人以上が来場する県南部地域の有力な集客施設になっている。

海外施設と共催の公募展 国際シンポなどの記念行事を開催

陶芸の森では「信楽から世界を見る」世界から信楽を見る」をテーマに、さまざまな25周年記念イベントを企画している。

「信楽にはやきものの里としての伝統の力がある。これまでの活動成果の蓄積や人的ネットワークを生かし、伝統と革新がせめぎ合う日本の陶芸の最前線を映し出す、陶芸の森らしい記念企画が用意できた。『世界へ』と『まち(地元)へ』の二つの方向にベクトルを合わせ、世界へ向けた発信を地域と共に取り組んでいきたい」と思いを語る森野泰起副館長。

記念催事の中でも中心となるのが、秋に予定している国際シンポジウム&ワークショップ「やきものの今とその可能性」。各国のレジデンス事業実施団体のコーディネーターや作家を招き、アーティスト・イン・レジデンス事業の現状と課題について意見交換し、将来の国際的なネットワーク形成につなげていく計画だ。

また、陶芸館では四つの記念展覧会を予定している。第1弾は3月から開催中の「リサ・ラーソン」展。続いて、夏に「土・



やきものの美と魅力が味わえる、陶芸専門の美術館「陶芸館」

祈り・イマジネーション：岡本太郎の言葉とともに「展、秋には「信楽への眼差し」展、そして、来年3月からは「日本現代陶芸」展が予定されている。

日本現代陶芸展は、アメリカ・ミシガン州にあるフレデリック・マイヤーガーデンズ&スカルプチャーパークとの共同開催。日本陶芸の今を紹介するために、陶芸の森が初めての公募展を実施する。

また、秋には信楽の街を会場にしたイベントの開催が予定されている。実行委員会には陶芸の森からも数名がメンバーとして参加。地域の若手作家や窯業関係者、社会人の有志などと交流を深め、今後も地域活性化のキーパーソンとして活動していくことを視野に入れている。

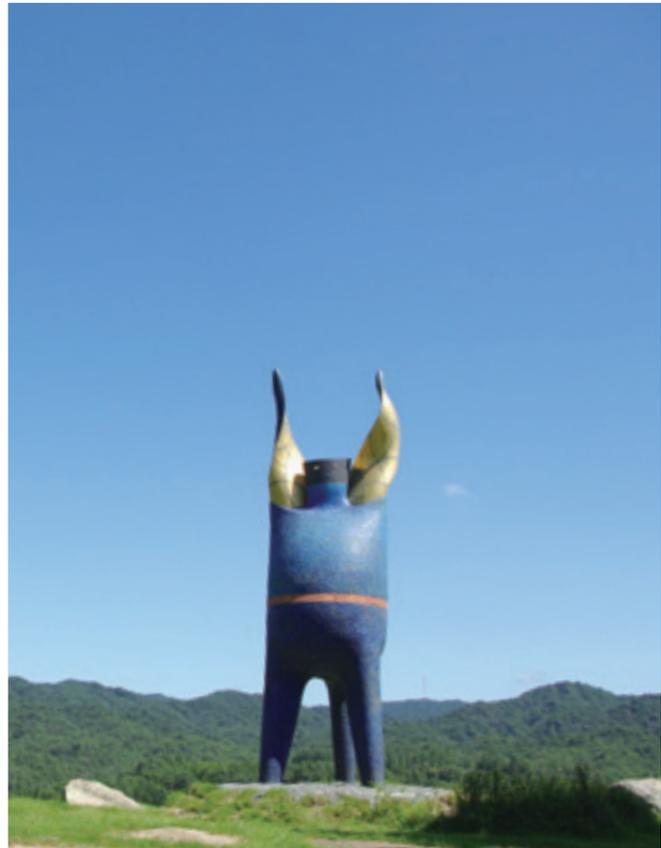


アーティスト・イン・レジデンス事業で、制作に励む海外アーティスト

伝統産地の課題は人材育成、 デザイン力&マーケット力の向上

「ライフスタイルの変化、輸入品や安価な製品の普及などで、信楽は厳しい状況にある。技術の継承や人材育成、デザイン力、マーケティング力の向上などの課題にも直面している。しかし、土に恵まれ、多様な窯と、優れた焼成技術がある信楽は、産業・文化・人材がそろった地域資源が豊かな産地として世界的にも評価が高い。陶芸の森は25年の間に独自のノウハウや成果を蓄積してきた。地元産業界と陶芸の森が、それぞれの特長を相互にやりとりすることで、地域活性化の道筋が見えてくるのではないかと川口雄司

に100万人を突破した。92年に始まったアーティスト・イン・レジデンス事業では49カ国、延べ約千人の芸術家をこれまでに受け入れてきた。そして、つちっこプログラムは、子供たちが陶芸の森で鑑賞、見学、制作するほか、アーティストとボラ



屋外にも陶芸作品がたくさんあり、散策しながらアートを楽しめる。写真は星の広場にある、サンドロ・ロレンティーニ(イタリア)作「炎の人」

ンティアが協力して学校に出向き制作体験活動を組み合わせたプログラムを行う。子供たちの新たな能力を引き出すことができる」と評価が高く、今では年間約1万人が参加するまでになった。これらの事業の展開により、陶芸の森

館長は期待を込める。

リサ・ラーソン展は人気の企画。初日の開場前には長蛇の列ができた。信楽高原鉄道では、リサ・ラーソンの人気キャラクターをラッピングした「マイキー・トレン」を6月7日の会期終了まで運行している。信楽の景色の中を走るその姿は、地域と共に進もうとする陶芸の森の姿勢を表しているかのようだ。陶芸の森の25周年は、新たな信楽に向け、活気のあるスタートを切った。

陶芸の森では2012年4月に「陶芸の森やきもの振興基金」を創設し、陶芸の森の事業活動を支援する寄付を広く募集している。問い合わせは、電話0748-830609



「つちっこプログラム」の一環で、学校に出向いての陶芸教室

※日本現代陶芸展=「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今—伝統と革新」展

香港不動産事情

texted by 滋賀銀行 香港支店 野村 直樹

財産が100万米ドル(約1.2億円)以上の億万長者数の伸び率が世界一の香港。その大きな要因は不動産価格の高騰だ。中国からの投資マネーが流入して不動産市場は活況を呈する一方、資産がない若者たちの住宅事情は深刻だ。香港の不動産事情についてレポートする。

不動産市場の現状

「世界で最も賃料が高いオフィス街」調査で香港は世界第2位にランキングされた(Office Space Across the World 2015/クッシュマン&ウェイクフィールド調査)。世界首位はロンドンで、年間賃料は1スクエアフィート(0.0929㎡)当たり264米ドル、第3位はニューヨークの131米ドルと続く。香港は184米ドルで、アジア太平洋地域では2年連続のトップとなる。

香港ではオフィス賃料と同様に個人の住宅価格も驚くほど高い。日本のマンションで一般的な広さの70㎡を例に挙げると、香港島にある物件

の平均価格は約1億7千万円、同様に平均賃料は1カ月約42万円だ(香港政府統計2014年10-12月平均。1香港ドル=15円換算)。価格・賃料の上昇には、現在も歯止めがかかっていない。

不動産市場高騰の背景

香港の総面積は1,104km²(東京都の約半分)。その上、意外にも山林が多いため、住宅用地として使えるのは総面積のわずか10%以下。その狭い土地に726万人が密集しているため、人口密度も世界第2位(約6,500人/km²、日本の約20倍)にランキング(IMF調査)されるほどだ。一部の超富裕層向

けの一戸建てを除き、多くの人が巨大なアパートや高層マンションなどの集合住宅で生活しており、香港の住宅ニーズは常に高い状態が続いている。

では過去の不動産市場の推移はどうだったのか。入手可能な1980年以降の政府統計では、住宅価格、住宅賃料ともに84年が底になっている(グラフ参照)。84年といえば中国とイギリスが「中英共同声明」を発表し、97年に香港を中国に返還することを宣言した年だ。この声明を受けて不動産市場が大きく下落したという記憶が、今の香港人にも鮮明に残っているという。

その後不動産価格は上昇に転じるが、2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)流行により香港経済は低迷し、再び住宅市場も下落。同年、香港政府は海外からの投資を呼び込むために「資本投資者入境計画」を打ち出した。不動産や金融資産に対する大口の個人投資と引き換えに香港の居住権を取得できる制度だ。この制度で実行された投資総額は2,160億香港ドル(約3.2兆円)、うち不動産投資



人気物件の周辺には不動産仲介会社も多い

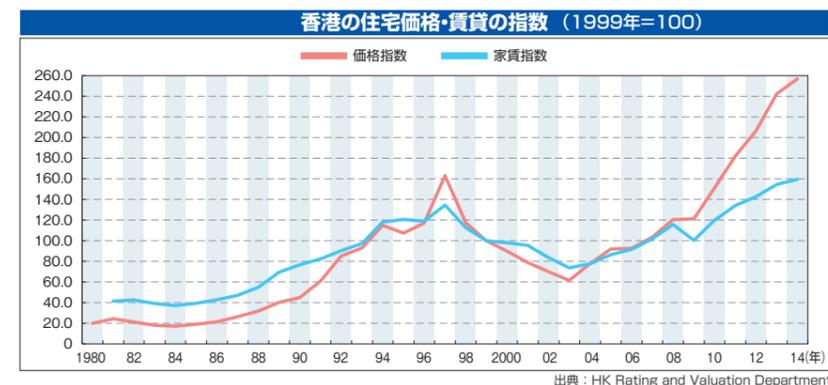
が425億香港ドル(約6,400億円)に上っている。居住権取得者の9割以上が海外永住権を持つ中国人であり、香港不動産に投資するチャイナ・マネーが不動産価格を押し上げた要因の一つとも言われている(10年に不動産投資は対象から除外。今年1月から本制度全体の新規申請受付は停止されている)。その後、08年はリーマンショックの煽りを受けたものの、09年から現在にいたるまで不動産市場は上昇を続けている。

価格抑制策を打ち出すも…

住宅価格が高騰したことで、香港人にとって居住物件を新たに購入する

のは難しい状況だ。香港の14年住宅価格は「年収17年分」で、5年連続世界一(NNA/米デモグラフィア調査)となり、サラリーマンが住宅ローンを組んで購入できる価格ではない。香港金融管理局(HKMA)は、住宅価格抑制のため、15年3月にも住宅ローンにかかる融資比率の上限を下げるなど不動産投資に対する規制を強化しているが、不動産購入を諦めた人の賃借ニーズを高める結果となり、賃貸市場の上昇を招いている。

オフィス賃料の値上げは企業の収益を圧迫する要因となるほか、個人住宅も契約更新時に賃料値上げを要求されるケースもある。引き続き、今後の動向を注視したい。



※為替レートは2015年4月20日現在のものです

知られざるフィリピンの魅力

タイやマレーシアが外資企業の誘致に成功し経済成長を遂げるのをはた目に、フィリピンは1965年から86年まで続いたマルコス政権のもと汚職がまん延し経済が低迷、「アジアの病人」と呼ばれた。しかし近年では、旺盛な消費と1億人を突破した豊富な労働力による高成長で、東南アジアの経済をけん引する存在だ。フィリピン政府統計によると、生産年齢人口(15~64歳)割合は、中国、タイが15年に、インドネシア、ベトナムが25年に減少に転じる一方、フィリピンの減少期は2045年~50年。まだまだ人口増は続く。人件費の上昇は緩やかで労働争議も少なく、東南アジアの中でも魅力的な労働力と言える。

しかし日系企業が海外進出を検討する際、フィリピンは治安が悪いという理由で除外されることが多い。凶悪犯罪の発生件数が他の新興国に比べ突出して高いわけではないが、過去に日系商社店長の誘拐などの事件が発生していること、米国同様に銃社会であるということがネガティブなイメージになっているのだろう。

当地に滞在すると、明るくホスピタリティある国民性と比較的整備されたインフラに魅力を感じる。全土で見かける乗合タクシー「ジブニー」は、決まったルート往復する中で自由に乗降でき、初乗り料金は8ペソ(約20円)と安価で、庶民の足として活躍している。元々は米軍払い下げのジープを改造したものが、現在は日本製のトラックなどが改造され、ボディはフィリピン製のステンレスボディ、フロントグリルはジープを模している。このジブニーの往来でフィリピンの街並みは他のアジア諸国と趣を異にし、米国文化との融合を印象づける。

現地駐在員から「この環境を壊されたくない」と、視察に来る海外企業に対しマイナスの情報を強調している」という冗談をよく耳にする。それは真実だ、と錯覚するくらい、現地の投資環境の良さは情報やうわさとかけ離れている。まさに「知られざる」フィリピンの魅力だが、それが「秘密」でなくなる日も近いだろう。

「しがきんアジア月報」4月号より
バンコク駐在員事務所長 河村 正弘



庶民の足「ジブニー」。インパクトある外見だ



高層マンション群。住むためではなく、投資目的で購入されることも多い



弱含みの足踏み状態

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数でみると、原指数は3か月連続のマイナスとなっているものの、季節調整済指数が3か月ぶりのプラスとなり、季調済指数の3か月移動平均値は2か月ぶりのプラスとなった。しかし、出荷は4か月連続のマイナスで、在庫は12か月連続かつ二ケタの大幅プラスとなり、今後の動向が注目される。

需要面では、大型店売上高については飲食料品がけん引しているものの、他の品目では消費税の影響が長引いているため、全体に伸び率は鈍化ないしは微減となり、引き続き伸び悩んでいる。また、乗用車の新車登録台数は8か月連続かつ大幅のマイナスとなり、民間設備投資の指標である民間非居住用建築着工床面積は3業用とも前年を大きく下回り、全体では2か月ぶりの大幅マイナスとなり、また、新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲住宅とも大幅のマイナスとなったため、全体では再び前年を大きく下回った。さらに、公共工事の請負金額も4か月連続のマイナスとなっている。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は3か月ぶりに前月に比べ低下したが、有効求人倍率は前月と同じ1.00倍となった。また、2月から3月にかけて実施した「県内企業動向調査」によると、今回調査(15年1-3月期)での自社の業況判断DIは、前回(14年10-12月期)の-8から4ポイント低下し-12と

なった。前回時点での見通し(-20)よりマイナス幅は縮小したが、14年4-6月期以降、「悪い」と答えた企業の割合が4四半期連続で「良い」を上回っている。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は在庫調整が長引き、全体に弱含みの状態が続いているが、一部の業種では前向きな動きが始めている。一方、需要面では消費税の悪影響が根深いため、上向きはじめたものがここにきて再び伸び悩んでいる。したがって県内景気の現状は、全体的には弱含みの足踏み状態にあるものと考えられる。

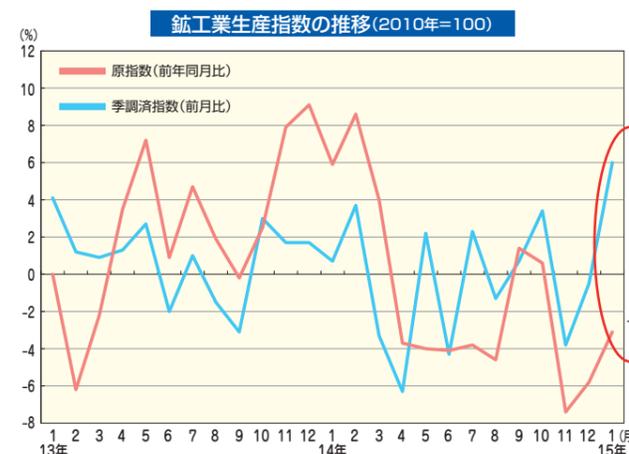
今後の動向 県内製造業の生産活動については、在庫調整が長引くなかで、景気の緩やかな回復基調を受けて全体的に底離れから緩やかな回復に向かうものと思われる。需要面では、個人消費については円安に伴う物価上昇と消費税などのマイナス要因により消費マインドは引き続き厳しいため、耐久消費財や高級品の回復感乏しいものの、食料品や日用品などの最寄り品を中心に底堅く推移するとみられる。一方、新設住宅着工や民間設備投資などの投資関連需要は駆け込み需要の反動減が和らぐものの、慎重さが残るため弱含みの推移になるものと思われる。

したがって今後の県内景気は、現状の足踏み状態がしばらくは続き、その後緩やかながら回復に向けて動き出すものと考えられる。

「鉱工業生産指数」の季節調整済指数は3か月ぶりの前月比プラス

2015年1月の県内製造業の生産状況をみると、鉱工業生産指数(2010年=100)の「原指数」は91.7、前年同月比-3.1%で3か月連続のマイナスとなっているものの、「季節調整済指数」は105.0、前月比+6.0%で、3か月ぶりのプラスとなった。この結果、季調済指数の3か月移動平均値(2014年12月)は101.2、前月比+0.5%と、2か月ぶりのプラスとなった。業種別(中分類)に季調済指数の水準をみると、「電気機械」と「窯業・土石製品」は100の水準を下回ったが、「輸送機械」や「食料品」「その他」などは高水準で推移している。前月と比べると、「金属製品」と「電気機械」はマイナスとなったが、「輸送機械」や「化学」「食料品」などは大幅のプラスとなった。

生産状況の先行きをあらわす「出荷指数」と「在庫指数(製品在庫)」を前年比でみると、出荷は4か月連続のマイナスで(原指数90.5、同月比-5.3%)、在庫は12か月連続かつ二ケタの大幅プラスとなっている(同121.0、同+13.4%)。



既存店ベースの「大型店売上高」は8か月ぶりの微減

2月の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2010年=100)」は102.5で、前年同月比+2.5%、前月比0.0%となり、前年比では22か月連続のプラスとなっているものの、前月比では横ばいで推移している。これは、消費税の影響からほとんどの品目で上昇したものの、エネルギー(電気代、ガス、灯油、ガソリン)が高水準ながら7か月連続の低下となったためとみられる(119.5、前年同月比-0.9%、前月比-1.3%)。また、「可処分所得(大津市・勤労者世帯)」は3か月連続の大幅プラスとなったが(前年同月比+20.2%)、「家計消費支出(同)」は10か月ぶりのマイナスとなった(同-8.0%)。

このような所得・消費環境のなか、2月の「大型店売上高(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は103店舗、前年は100店舗)」

は前年比+2.4%となり、16か月連続で前年を上回っているものの、消費税後の伸び率は昨年9月をピーク(同+6.9%)に徐々に低下している。品目別にみると、ウエイトの高い「飲食料品」が21か月連続で増加し(同+5.2%)、全体をけん引しているものの、他の品目はマイナスとなり、なかでも6か月連続マイナスの「家電機器」(同-18.6%)や3か月連続マイナスの「家庭用品」(同-6.3%)のマイナス幅が大きい。また、「既存店ベース(=店舗調整後)」の売上高は「飲食料品」が21か月連続のプラス(同+2.0%)となっているものの、他の品目はすべてマイナスとなったため、昨年6月以来8か月ぶりの微減となった(同-0.2%)。全体に引き続き飲食料品がけん引しているものの、他の品目は消費税の影響が長引き総じて伸び悩んでいるとみられ、今後の動向を注視する必要がある。

大型店売上高の推移(前年同月比)



2月の「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」をみると、「小型乗用車(5ナンバー車)」が7か月連続で前年を下回っていることに加え(1,488台、前年同月比-6.9%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」も5か月連続かつ大幅のマイナスとなっているため(1,628台、同-26.4%)、2車種合計では8か月連続かつ大幅のマイナスで伸び悩んでいる(3,116台、同-18.3%)。また、「軽乗用車」は前月に続きマイナスとなった(2,703台、同-12.7%)。これは、前年同月が駆け込み需要により高水準(14/2:3,095台、同+36.8%)となっていたためマイナスとなったもので、水準自体は平年に比べても低くない(13/2:2,263台、12/2:2,433台)。

乗用車の新車登録・販売台数(前年同月比)

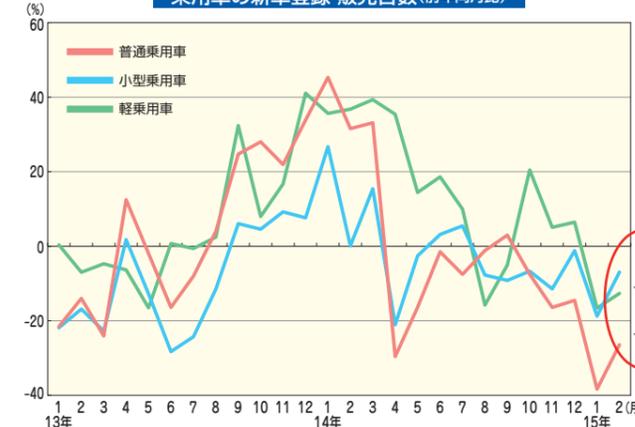
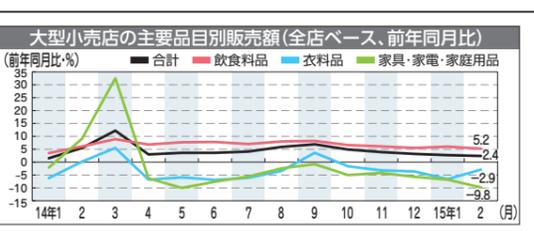


Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 生産 (Production), 出荷 (Exports), 製品在庫 (Inventory), 消費者物価指数 (CPI), 大津市勤労者世帯 (Tsuji City Workers), 大型小売店販売額 (Large Retail Sales). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 乗用車新車登録台数 (乗用車), 民間非居住用建築物着工床面積 (民間非居住用), 新設住宅着工 (新設住宅), 公共工事請負金額 (公共工事), 求人倍率 (求人倍率), 雇用保険受給者数 (雇用保険). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 常用雇用指数 (常用雇用), 所定外労働時間 (所定外労働時間), 常用労働者の賃金指数 (常用労働者の賃金), 企業倒産 (企業倒産), 手形交換高 (手形交換高), 不渡手形発生高 (不渡手形発生高), 銀行取引停止処分 (銀行取引), 業況判断DI (業況判断DI). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

今月の注目データ 大型小売店販売額は飲食料品がけん引
大型小売店販売額を品目別にみると、滋賀県は飲食料品のウエイトが高いのが特徴だ。2015年2月は約156億円と、全体(約216億円)の72.3%を占めた。前年比では+5.2%と2カ月連続のプラスで全国(+2.8%)の伸びを上回り、全体をけん引した。



(2015.4.20現在)

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 生産 (Production), 出荷 (Exports), 製品在庫 (Inventory), 消費者物価指数 (CPI), 全国勤労者世帯 (National Workers), 大型小売店販売額 (Large Retail Sales). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 乗用車新車登録台数 (乗用車), 機械受注額 (機械受注額), 建設工事受注額 (建設工事), 民間非居住用建築物着工床面積 (民間非居住用), 新設住宅着工 (新設住宅), 公共工事請負金額 (公共工事), 求人倍率 (求人倍率), 完全失業率 (完全失業率). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

Table with columns for 項目 (Item), 年月 (Year/Month), 常用雇用指数 (常用雇用), 所定外労働時間 (所定外労働時間), 常用労働者の賃金指数 (常用労働者の賃金), 貿易 (貿易), 経常収支 (経常収支), 円相場 (円相場), 日経平均株価 (日経平均株価), 長期プライムレート (長期プライムレート), M2 (M2), 業況判断DI (業況判断DI). Includes data for 2012-2015 and monthly breakdowns.

(注) ① P印は速報値、R印は修正値、※は暦年。
② 「前月比」は季節調整値、「前年比」は原数値の前年比増減(▲)率、%。
③ 「民間非居住用建築物着工床面積」は、鉱工業用、商業用、サービス業用の合計。
④ 「業況判断DI」=「かなり(やや)良い」の回答割合-「かなり(やや)悪い」の回答割合。
※ 全国の「所定外労働時間指数(製造業)」「常用労働者の賃金指数(名目)」は指数等の改訂により、遡及して数値を修正しています。



もう一つの「2045年問題」

滋賀銀行 常務取締役 林 一義

日本の総人口は2045年に1億人を割り込むとされていますが、先日、もう一つの「2045年問題」があることを知りました。

「技術的特異点」。聞きなれない言葉ですが、コンピューター(人工知能)が人間の知能を超えて急激に進化し始める時点のこと、それが2045年頃になると予想されています(諸説あり)。これ以降、技術開発や進化の主役が人間からコンピューターに移るとされており、「トンデモ科学」の領域かと思いきや、最近では総務省の研究会でも真面目に議論され、世界中で研究している学者や企業も多いそうです。

例えば、最近のスマートフォンは話しかけると簡単な質問なら「応えて」くれます。将来どう進化していくのか楽しみな反面、スマートフォンばかりを頼りにしていると、知らない間にど

こか意図せぬところへ誘導されてしまいそうで、一抹の不安も覚えます。

経済成長には技術革新(イノベーション)が欠かせません。一方で、科学技術は「もろ刃の剣」とも言われます。科学技術は、インターネットのように歴史的にも軍事的から生まれたものも多くあります。科学技術を利用するには倫理が必要であり、「人工知能」に対しても倫理的な議論が始まりつつあります。

我々も、科学技術を単に受け入れるだけでなく、そこに含まれる“光と影”をしっかり理解し、利用する側の立場で牽制・監視していくことが大切です。

映画「ターミネーター」や「マトリックス」のように、人類がコンピューターに支配される世界は遠慮したいものです。

県内データ あれこれ

常用労働者数
— 毎月勤労統計調査(2014年平均)結果より

滋賀県の常用労働者のうち、3割が製造業に従事

滋賀県が公表している「毎月勤労統計調査」によると、2014年の県内における「常用労働者数(注)」(事業所規模5名以上、月平均)は、468,425名だった。これは、全国(46,808千人)の1%に相当する。

産業別の内訳をみると、製造業が138,126人で最多。次いで「医療、福祉」(71,297人)、「卸売業、小売業」(70,665人)などが続く。滋賀県は製造業の比率が約3割(29.5%)を占め、全国平均(17.1%)を12.4ポイント上回っており、大きな特徴といえるだろう。

前年比でみると、消費税増税前に住宅着工の駆け込み需要が発生した影響などで、建設業が10.1%増加した。このほか一部の産業では増加したが、県全体では1.4%減とやや減少した。人手不足の影響もあるとみられる。当社が今年2月に実施した「滋賀県内企業動向調査」では、4分の1以上の企業が人手不足と回答し、特に小売業やサービス業では4割を超えた(詳細は当社ホームページに掲載)。

労働力の確保は企業にとって重要な課題の一つだが、今後は雇用条件や就労環境の改善など、従来以上の対策が必要になりそうだ。

(株)しがぎん経済文化センター 中村 雅臣



(注)「常用労働者」…次の①②のいずれかに該当するもの。条件に該当すればパートタイム労働者も含まれる。
①期間を定めず、または1カ月を超える期間を定めて雇われている者。
②日々、または1カ月以内の期間を限って雇われている者のうち、前2カ月にそれぞれ18日以上雇われた者。



絶滅の危機から復活 新たな輝きを放つ「琵琶パール」

▶ 会社DATA 齋木産業株式会社

- 本社 / 近江八幡市古川町513
- 創業 / 1973(昭和48)年
- 代表 / 齋木 勲
- 従業員数 / 2名
- 事業内容 / 水産業
- 問い合わせ先 / TEL:0748-34-8221

淡水真珠の養殖は、琵琶湖が国内発祥の地。通常より長い3年以上の時間をかけて作られる厚い真珠層が特徴だ。そこから生まれるバラエティに富んだ色彩と光沢の美しさが「琵琶パール」として世界的に評価されてきた。

しかし、琵琶湖の水質悪化の影響で、1980年代半ばから母貝のイケチョウ貝が激減。さらに海外から安価な真珠が流入し、業界は壊滅的状况に陥った。そんな時でも、琵琶パールを決して絶やさないという強い意志で真珠養殖を続けてきたのが齋木産業だ。

「ようやく復活の光が見えた」と語る齋木社長。90年代以降の水質改善や県の協力による母貝の養殖などの取り組みで、順調に母貝が育っている。近年では、ファンを活用して広く一般から支援を募るなど、ファンの拡大とブランド力向上にも力を注ぐ。

一粒一粒の色や形がユニークで個性豊かな表情が最大の魅力の琵琶パール。ネックレス以外に、オリジナルデザインのリングやペンダント、ブローチも人気だ。希少価値の高い地場産業の復活に期待が膨らむ。

SHIGAGIN TOPICS

「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」で優秀賞 ～金融機関では唯一、2度目の受賞～

当行は3月20日、「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」(主催:「誠実な企業」賞-Integrity Award-審議会)で「優秀賞」を受賞。3,500社以上の企業から、3社(最優秀賞:伊藤忠商事株式会社、優秀賞:当行、東レ株式会社)が選ばれました。

「『誠実な企業』賞」は、企業経営の誠実さの重要性を示すとともに、企業の社会的責任を重視した誠実な経営が中長期的に見て市場で高い競争力を持つことを評価しつつ、こうした意識の高い企業を社会的に応援する観点から、企業の社会的責任、企業倫理、コンプライアンス、内部統制等に優れた取り組みを行っている企業を選出し、表彰するものです。

今回の受賞は、①「三方よし(売り手よし 買い手よし 世間よし)」に「地球環境よし」を加えた「四方よし」を目指し、環境を主軸に「日本の金融機関初」といった先進的な取り組みを展開していること②「地域振興室」を設置し、地域密着で産業の振興や地域

の活性化に取り組む地場産業育成銀行のモデルといえること③行は「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」の精神を原点に、すべての活動に取り組んでいることが高く評価されたものです。

当行は、今後も行是の精神を原点とし、持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。



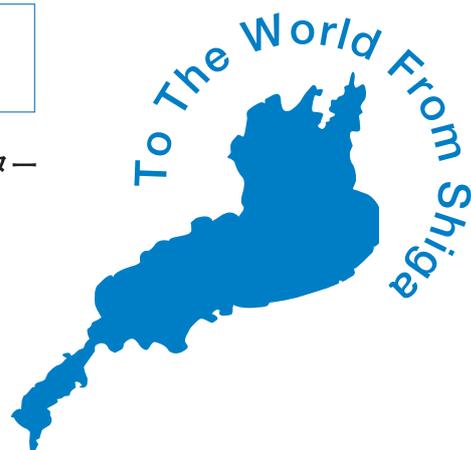
長友英審議会委員長(右)より、当行 高橋専務に表彰盾と記念品が授与されました

『しがぎん』 エコビジネス マッチングフェア2015

日時 2015 6/3(水) 10:00~17:00
 会場 琵琶湖ホテル 3階「瑠璃」の間

入場無料

主催/株式会社滋賀銀行 株式会社ししがぎん経済文化センター
 後援/滋賀県、公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、一般社団法人滋賀経済産業協会、
 滋賀経済同友会、滋賀県中小企業団体中央会



エコビジネスがひびく。HITはつながる。



「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、環境省認定「エコファースト企業」です。



当行は、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。

SHIGA BANK